

国語「古文」 第1章. 未然形接続の助動詞①

1 り

基本形	り
活用の型	ラ変型
未然形	ら
連用形	り
終止形	り
連体形	る
已然形	れ
命令形	れ

【解答】 (1)、(2)は左の活用表を参照。

(3) **出家した**

<古文> 家を出で世を背けり

<現代文> 家を出て出家した

【主な意味と用法】

- ・ 存続
「～している」
- ・ 完了
「～た」

棟を並べ薨を争へる
(屋根を並べて建物の高さを競っている)

海人の流せる舟かとぞみる
(漁師が流した舟かと思って見る)

2 ず

基本形	ず
活用	特殊型
未然形	ず ざら
連用形	ず ざり
終止形	ず
連体形	ぬ ざる
已然形	ね ざれ
命令形	ざれ

【解答】 (4)、(5)は左の活用表を参照。

(6) **知らない**

<古文> 名も知らぬ木草の花ども

<現代文> 名前も知らない木や草の花々

【主な意味と用法】

- ・ 打消
「～ない」

月出でずは、星見るにはよき夜ならむ
(もし月が出ないならば、星を見るにはよい夜だろう)



【アプリ版のご紹介】古文・漢文

古文・漢文を学習中の中学生、高校生必見！定期試験とセンター試験に頻出の「古文単語」「古典文法」「漢文」を、完全に無料で学べるアプリが登場！！



【オマケの一題】

古文・漢文

次の白文の、カッコ内の読み方は？ 人「未還」

(A) かへるべし (B) かへるなり (C) かへらず (D) かへらんや